

臨時農業生産情報

(高温に対する技術対策)

令和3年8月3日
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

仙台管区气象台発表（令和3年8月2日14時30分）「高温に関する早期天候情報（東北地方）」によると、東北地方では、今後2週間程度、暖かい空気が流れ込みやすいため、気温は平年よりかなり高くなる可能性があります。

今後の気象情報に注意し、次の事項に留意して、農作物の適正な管理に努めてください。

1 水 稲

- (1) 出穂・開花期は、稲が最も水を必要とする時期になるので、開花・受精に支障がないよう5～6cmの水深を保つ。
- (2) 出穂後6～10日の期間に高温になると、胴割米などが発生し品質が低下しやすくなるので、開花が終了した水田では、水の入替えなどで水温の上昇を防ぐ。
- (3) 斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想されているので、適期防除を徹底する。
- (4) 早期落水は品質低下を助長するので、落水の目安「乾田で出穂後30～35日、湿田で出穂後20～25日」を守る。

2 野菜・花き・畑作

- (1) ハウス等施設栽培では、換気や遮光資材などによる温度管理を徹底する。
- (2) 野菜・花き類では、生育に応じた追肥とかん水を行い、草勢を維持する。また、収穫は、涼しい時間帯に行い、収穫物は直射日光が当たらないようにするなど鮮度保持に努める。
- (3) 高温・乾燥が続くと、ハダニ類、アザミウマ類、アブラムシ類等の発生が多くなるので、早期発見、早期防除に努める。
- (4) 転作大豆では、ほ場が乾燥している場合は、うね間かん水を行う。

3 りんご等果樹

- (1) 徒長枝の整理、支柱入れや枝つりなどは、日焼け果が発生しないよう高温時には控える。
- (2) 苗木や若木、わい性台樹は乾燥の影響を受けやすいので、園地の状況を確認し、乾燥している場合は1㎡当たり20リットル程度をかん水する。
- (3) ハウスぶどうは、換気などによる温度管理を徹底する。

- (4) 草からの蒸散を防ぐため、草刈りをこまめに行い、樹冠下に敷き草をする。
- (5) 収穫は、果実温が高い日中を避けて行い、収穫した果実は速やかに冷蔵庫に入れるか、日陰に置くなどにより鮮度保持に努める。

4 畜産

- (1) 畜舎の暑熱対策
 - ア 窓を開放したり換気扇や送風機を利用して、舎内の風通しをよくする。
 - イ 日除けの設置や屋根への散水等により舎内温度を下げる。
- (2) 家畜の飼養管理
 - ア 飼料給与は朝、夕の涼しい時間帯に行うなどして乾物摂取量を高める。
 - イ 新鮮な水を常に飲めるよう飲水環境を整える。
 - ウ 乳用牛では特に、乳量や乳成分の低下を防ぐため、良質の一番草を給与するようにし、ビタミンやミネラルの補給に努める。
 - エ 種雄豚の交配は涼しい時を選び、供用は週2回程度とする。
 - オ 鶏については、夜間に給餌する方法も有効である。
- (3) 放牧牛の管理
 - ア 放牧は、木陰のある牧区を使い、ミネラルの補給を欠かさないようにするとともに、新鮮な水が常に飲めるようにする。
 - イ 放牧牛の行動をよく観察し、異常牛の早期発見・早期治療に努める。



報道機関用提供資料	
担当課 担当者	(水稲・畑作) 農産園芸課稲作・畑作振興グループ GM 腰巡 好之 (野菜・花き) 農産園芸課野菜・花き振興グループ【発行元】 GM 木下 均 (りんご等果樹) りんご果樹課生産振興グループ GM 磯辺 慶 (畜産) 畜産課経営支援グループ GM 山田 健司
電話番号	(水稲・畑作) 直通 017-734-9480、内線 5073 (野菜・花き) 直通 017-734-9481、内線 5076 (りんご等果樹) 直通 017-734-9492、内線 5092 (畜産) 直通 017-734-9496、内線 4814
報道監	農林水産部 次長 石澤 雅史(内線:4966) 次長(農商工連携推進監) 近藤 幹三(内線:4967)

【おしらせ】

青森県では、臨時農業生産情報をパソコンやスマートフォンにメール配信するサービスを実施しています。青森県農業情報のホームページ「アップルネット」からお申し込み下さい。

県民の皆さまへのお願い
新型コロナウイルス感染拡大防止



<https://www.pref.aomori.lg.jp/koho/covid19kakudaiboushi.html>